令和6年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業
実施報告書【地域連携実践重点校用】

学校番号	32
学校名	富山県立氷見高等学校

重点課題	・今年度構築した地域人材との関係性をより継続的なものとするため、地域人材の意見をヒアリングしながら、伴走支援の仕組みについてより良い在り方を模索していく。 ・令和6年度以降は氷見市役所との連携を深め、2学年生徒は1学年次に検討した課題解決案を実行することによって実施する。 ・探究学習の学びと教科の学びへの接続を図る。 ・探究的な学びについて中学校や小学校と情報交換しながら、生徒にとって価値ある探究活動を実践する。
課題設定の趣旨	本校は、平成22年の再編統合時、総合的な学習「HIMI学」を開始した。これまでの地域と連携した活動を下地に、令和2年より、新学習指導要領の目指す探究的な学びの価値を創造するため新たに「未来講座HIMI学」を実施し、より地域に根ざした教育活動を行なっている。氷見市と「地域との連携による魅力ある高校づくり」に向けて包括協定を結び、令和2年度から4年度まで、文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の「事業特例校」(地域魅力化型)の指定を受けて、その価値を高めてきた。令和5年度以降、これまでの実績を生かし、地域人材とのより深い関係を持って地域協働学習を進めている。具体的には、地域人材に生徒の学習の伴走者として高い頻度で交流の機会を持つことを依頼し、生徒のモチベーション向上と同時に生きた学びに基づいたより実践的な探究活動を実施した。また、令和6年度からは以下4つの変更を行なった。 ・科目の名称を改めると同時に1学年・2学年で一気通貫してテーマについて取り上げ探究することができるカリキュラムとした。それにより、生徒たちは十分な時間をかけ探究のサイクルを複数回まわしながら探究することができるようになった。 ・探究活動の中で定期的に地域の伴走者に自分の考えを伝え、フィードバックをもらう機会を複数回用意し、生徒の活動の深化につながる事となった。 ・2学年「未来講座HIMI学Ⅱ」では、氷見市役所から生徒の考えた課題解決案の実行に対し資金的援助をいただくことで、生徒の課題の実行・検証活動を推進することができた。令和5年度までは約7割の生徒たちが実行・検証活動を行なっていたが、令和6年度ではほぼ全ての班が実行・検証活動を行い、それを通じて深い振り返りと学びを得ることができた。 ・1学年「未来講座HIMI学Ⅰ」では、生徒たちが学習に対する評価軸を自ら作成し自ら評価する「モデレーション」の実践を取り入れた。 本校の伝統になりつつある地域協働学習をより地域貢献できる内容とすることで、有為な人材を育成し、持続可能な社会の創造に資することができることを重点課題を設定した。
中長期ビジョンを実現するための今後の重点事項	・令和6年度は地域の伴走者に支援いただきながら多くの課題解決案を実行した結果、一部地域の方から連携のあり方について意見をいただいたため、地域と連携して事業を行う場合の注意点を整理しマニュアル化を行う。 ・探究学習の学びと生徒の進路や興味関心との接続を図る。 ・探究的な学びについて中学校や小学校と情報交換しながら、生徒にとって価値ある探究活動を実践する。
実施内容 (具体的に記入する)	【1学年「未来講座HIMI学Ⅰ」】 年度当初に「地域の探究実践者と語る」を実施。ポスターセッション形式で20名の外部の社会人が日々の取り組みについて発表した。生徒はこの「地域の探究実践者と語る」やフィールドワークを受け、自分が取り組む地域課題を設定し、少人数グループで探究活動を行なった。特に普通科は、2学年次に実践することを見通して、地域課題の解決案を、各テーマの専門家である地域人材を伴走者とし助言を受けながら実行・検証した。専門学科では、各学科の意向に沿って、専門性と地域を結びつけた講座を展開した。その他、以下を実施した。 ・主に普通科、生徒たちが学習に対する評価軸を自ら作成し自ら評価する「モデレーション」の実践を取り入れた。 ・各講座において、氷見市職員、民間の事業者等を探究学習の伴走者として招聘(延べ22回) ・中間発表会をポスターセッション形式にて実施。7名の外部の社会人が参加した。 ・発表会をポスターセッション形式にて実施。15名の外部の社会人が参加した他、富山大学 准教授 増田美奈氏に参加いただき、生徒の探究活動の結果について講評をいただいた。 【2学年「未来講座HIMI学Ⅱ」】 生徒は1学年次の「未来講座HIMI学」の積み重ねも考慮しながら自分が取り組む地域課題を設定し、少人数グループで探究活動を行なった。地域の方々の助言を得ながら、地域課題の解決を目指した。11名の地域人材に月1回程度の頻度で伴走者として生徒の探究活動を支援していただいた。成果の事例として、以下の取り組みがあった。 ・「商店街班」は、商店街の空き家の残置物を回収しフリーマーケットで販売する企画を実施した。 ・「図書館の利用促進班」は、市立図書館の利用促進を目指した「本のお楽しみ袋」企画を実施した。 ・「観光班」は、市内の着物縫製業者と協働し、氷見の着物の魅力を伝えるワークショップを東京のアンテナショップで実施した。 ・「PR班」は、0から氷見をPRするオンラインパズルゲームを作成し、イベントで体験会を実施した。 ・最終発表会に伴走者8名と、富山大学 准教授 神野賢治氏/准教授 廣橋祥氏/准教授 増田美奈氏/講師 塩見 一三男氏をアドバイザーとして招聘。生徒の探究活動の過程と最終発表について講評をいただいた。 ・2月5日に担当教員と伴走者、市役所担当者の三者で振り返り会を実施し、次年度以降の改善点についてディスカッションした。 【1・2学年共通】 ・1学年「未来講座HIMI学Ⅰ」の防災班主催で能登の被災地区への訪問・災害ボランティア活動を実施した。 ・3月10日に「富山のすごい企業を知る！バスツアー」を実施し、アルハイテック株式会社と株式会社能作を訪問した。

取組の成果 (プロジェクト学習推進 の観点から)	①地域との協働体制を深めることによって、地域での生徒のアクションを推進することができた。特に2学年「未来講座HIMI学Ⅱ」では本年度より、氷見市役所より生徒の提案した課題解決策実行に対して資金的な援助をいただき、更に地域人材計11名が伴走者として年間5～10回程度本校を訪問し、地域課題の提示や探究活動に対する助言・支援、成果発表に対する講評をしていただいた。これにより、生徒は地域人材の伴走支援を受け考えを深めながら、実践による学びを得ることができた。令和5年度は課題解決案の実行まで行う班が半数程度だったのに対して、全ての班が実行まで行うことができた。 ②1学年「未来講座HIMI学Ⅰ」では、生徒自身が探究活動の中での成長を評価する軸を設定し振り返るモデレーションを実施した。まず年度当初に先輩の発表や地域人材の話から探究で大切にしたいこと(評価規準)を考え、それに基づいて中間発表、最終発表のタイミングで自分の活動について振り返り、評価を行なった。これまで担当教員は生徒の活動の促進と学習の質を高めることに苦勞していたが、これにより、生徒自身が押し付けられた規準でなく自ら設定した規準で評価を行い、主体的に今後の改善点を考えるなどの動きが見られた。 ③①と②の通り、伴走者のシステムを改善したことにより、生徒の満足度はさらに高くなってきている。 ・各授業を受講した生徒を対象とするアンケートでは以下の結果を得ることが出来た。 【1学年「未来講座HIMI学Ⅰ」】 ・探究活動を通じて、今後の将来の社会貢献や問題解決について前向きに取り組みたいと考えるようになりましたか。→「なった」91.2% ・探究学習を通じて、教科学習の必要性を感じるなど、学習への意欲は向上しましたか。→「向上した」87.3% 【2学年「未来講座HIMI学Ⅱ」】 ・探究活動の中で、外部の方との印象に残った出会いはありましたか。→「あった」91.2% ・探究活動を通じて、今後の将来の社会貢献や問題解決について前向きに取り組みたいと考えるようになったか。→「なった」88.5% ・探究学習を通じて、教科学習の必要性を感じるなど、学習への意欲は向上しましたか。→「向上した」80% ・探究活動の経験は、将来に生かせると思いますか。→「生かせる」94.2% ④3月9日に実施された「氷見教育フォーラム」に参加し、生徒が地域の方々や中学校の先生方に向けて取り組みについて発表を行った。
対象者(学年・人数など)	「未来講座HIMI学Ⅰ」(普通科):1学年普通科81名 「未来講座HIMI学Ⅰ」(専門学科):1学年専門学科99名 「未来講座HIMI学Ⅱ」:2学年普通科38名
実施実績	4月 「未来講座HIMI学Ⅰ」:「地域の探究実践者と語る」事前学習1回 「未来講座HIMI学Ⅱ」:ガイダンス1回、テーマ設定1回、班分け1回 5月 「未来講座HIMI学Ⅰ」:「地域の探究実践者と語る」1回 「未来講座HIMI学Ⅱ」:班別活動3回(うち1回伴走者来校) 6月 「未来講座HIMI学Ⅱ」:班別活動2回 7月 「未来講座HIMI学Ⅰ」:班別活動4回(テーマ設定・フィールドワーク事前学習) 「未来講座HIMI学Ⅱ」:班別活動1回(うち1回伴走者来校) 8月 「未来講座HIMI学Ⅰ」:フィールドワークの実施(10コース実施) 9月 「未来講座HIMI学Ⅰ」:ポスター準備2回、中間発表会1回 「未来講座HIMI学Ⅱ」:班別活動4回 10月 「未来講座HIMI学Ⅰ」:班別活動3回 「未来講座HIMI学Ⅱ」:班別活動4回(うち1回伴走者来校) 11月 「未来講座HIMI学Ⅰ」:班別活動3回(うち1回伴走者来校) 能登半島震災学習実施 「未来講座HIMI学Ⅱ」:班別活動3回 12月 「未来講座HIMI学Ⅰ」:班別活動3回 「未来講座HIMI学Ⅱ」:発表会(地域人材及び富山大学の教授を招聘) 1月 「未来講座HIMI学Ⅰ」:班別活動3回、発表会(地域人材及び富山大学の教授を招聘)、振り返り 「未来講座HIMI学Ⅱ」:振り返り3回 2月 「未来講座HIMI学Ⅱ」:担当教員・伴走者・市役所担当者振り返り 3月 「富山のすごい企業を知る!バスツアー」実施